

イクレイ日本 活動報告 2021



Contents

1. イクレイについて	3
イクレイの目標・5つの発展的道筋	4
2. イクレイ会員について	5
3. イクレイ日本について	6
イクレイ日本の体制	6
イクレイ日本の会員自治体	7
イクレイ日本2021年度ハイライト	8
4. イクレイ日本2021年度活動報告	10
ローカルアクションを結集する	10
ローカルアクションを後押しする	11
ローカルアクションを主張する	17
ローカルアクションを広める	18
5. グローバルガバナンス	21

1

イクレイについて

「イクレイー持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会 (ICLEI–Local Governments for Sustainability)」は、世界2,500以上の様々な規模の自治体で構成された国際ネットワークです。

● イクレイのミッション（使命）

イクレイの使命は、地球規模の持続可能性を確実なものとするために、自治体による地域の取組（ローカルアクション）の積み重ねを支援し、世界的な運動を拡大することです。

● イクレイの活動

イクレイのミッションを達成するため、以下の活動を行っています。

ローカル アクションを 結集する

イクレイは、2,500を超える多様な自治体の国際ネットワークを活かし、自治体による取組を活性化させ、持続可能な社会の実現を加速させる国際イニシアティブ等を推進しています。

ローカル アクションを 主張する

持続可能な社会の実現において自治体の役割が重要視されるよう、政府や国際機関への働きかけを行っています。世界の自治体の意見をとりまとめ、国際交渉などの場への自治体の参加および発言をコーディネートしています。

ローカル アクションを 後押しする

イクレイは、持続可能な社会の実現に向けた自治体の取組を様々な形で後押ししています。自治体間の連携支援や、国際会議などでは多様な関係者による情報交換・交流の場などを提供しています。また、専門的な技術チームによるツール、ガイドブック、優良事例集なども作成しています。

ローカル アクションを 広める

国内外の自治体による先進的な取組やリーダーシップについて、ニュースレター、ケーススタディ、ウェビナーなど様々なメディアや広報ツールを活用して発信しています。また、国際会議やイベントでは、自治体が活動の成果を発信する機会を創出し、先駆的な取組の拡大に努めています。

● イクレイのネットワーク

都市、町、地域
2,500+

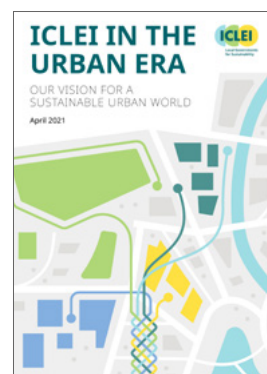
国
125+

都市人口率
25+

世界人口率
20+

● イクレイの行動戦略

2021年4月、イクレイ世界大会（スウェーデン・マルメ市）が開催され、新たな行動戦略「イクレイのマルメ宣言と戦略的ビジョン2021-2027」及び「マルメ行動計画2021-2024」が公表されました。また、猶予のない地球規模課題への対応を加速するため「5つの発展的道筋」を改訂しました。これらをふまえてイクレイは、以下6つの目標をかかげ、その目標達成に向け、5つの発展的道筋を相互に関連して取り組んでいます。



● イクレイの目標

- 1 持続可能な都市と地域のモデルを**スケールアップし拡大**すること
- 2 住民の長期的利益を守るために、現代における**最も重要な課題に取り組む**こと
- 3 “**持続性**”を全ての地域ならびに世界の発展の基幹に据えること
- 4 世界的な変革のために、全ての部門・国・自治体が**協力して努力**すること
- 5 繁栄の指標として、GDPとともに**地球環境と人類の幸福を考慮したグローバル経済**に移行すること
- 6 プラネタリー・バウンダリーを意識し、**持続可能なライフスタイルを促進する行動変容**のためのキャンペーンやプログラムに投資すること

● 5つの発展的道筋



低炭素な発展

ネットゼロ排出（気候ニュートラル）の未来を達成するために、予算的な措置を踏まえた実施可能で本質的な解決策を通じて、包摂的な気候変動とエネルギーに関する地域の行動を推進・加速させる。

自然に基づく発展

自然や地球と人類の破綻した関係を修復するために、地域経済を支え、社会の健全性やウェルビーイング、地域のレジリエンスの向上につながる都市内外の健全な生態系を尊重し、大切にし、強化する。

循環型の発展

都市の経済発展と健全性を維持するためには資源の消費や廃棄物の発生はやむを得ない、という状況から脱却する。市民、企業、研究機関と協力し、統合的な方法で循環型経済への移行を促進させ、新たな企業を支援し、尊厳のある雇用を創出し、市民のための野心的で質の高い生活をインスパイアさせる。

レジリエント(強靱)な発展

特に急速な環境、技術、社会、人口動態の変化によって引き起こされる劇的な変化やストレスを予測、防止、吸収し、そこから回復が可能な発展を目指す。急激な変化やストレスに対する基本的な対応の方法と組織機能の改善を目指す。

公平で人間中心の発展

より公正で住みやすく、幸せで包摂的な都市コミュニティを構築する。貧困と不正の体系的な原因に取組み、既存の社会的および環境的不平等を効果的に解消させる。人間の生活を支援する自然環境を保護し、コミュニティ内外の自然や建造環境が居住性、機会、平等、安全、正義、および健康を改善することを保証する。

2021年4月改訂版

2

イクレイ会員について

会員自治体は、イクレイのネットワークを通じて様々なベネフィットを得ながら、他の都市と連携して、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

● イクレイ加入のベネフィット

01

つながりを得る
Get Connected

イクレイは、2,500を超える多様な都市、地域、専門家との国際ネットワークを有しています。会員は、このネットワークに参加することにより、国内外の先進都市とのつながりを得て、活発な都市間連携を築くことができます。

02

情報を得る
Get Informed

イクレイでは、国際的な政策提言、技術発展、地域のリーダーシップなどの最新動向を分野横断的に整理・分析しています。会員は、これらの情報を、ニュースレター、ケーススタディ、ウェビナー（Web上の講習）などを通して得ることができます。

03

リソースを得る
Get Resources

イクレイでは、専門的な技術チームが、ネットワークを通じて蓄積された方法論やツール、知識・経験を提供しています。会員は、イクレイのサポートにより、都市の課題解決に向けた実行力を高めることができます。

04

参加の機会を得る
Get Involved

イクレイは、国際イニシアティブや国際会議を数多く運営しています。会員は、これらへの参加を通じて、国際舞台において、都市の先駆的な取組を発信することができます。

05

注目を得る
Get Featured

会員は、国際会議やイクレイが主催するイベントにおいて、都市の成果を講演する機会を、優先的に得ることができます。先駆的な取組をPRすることにより、リーディングシティとして、世界的な注目を集めることができます。

3

イクレイ日本について

2021年は日本を含め2050年までの炭素中立を表明する国や自治体が世界的に急速に広まり、国際社会の脱炭素化に向けた取組が加速しましたが、他方でコロナ禍に対する各国の景気刺激策、ワクチン普及などにより経済活動が回復し、世界のCO₂排出量は20年に6%弱低下したものの21年は6%増加し過去最高を記録しました。国連気候変動会議COP26は11月にグラスゴー気候合意を採択し、各国に対し気温上昇1.5℃抑制に向け努力を継続するとともに、2030年削減目標を見直し強化するよう求めました。また、21年は生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）第一部が開催され、愛知目標後の2020年生物多様性枠組の採択に向けた決意と自治体の役割の重要性が強調されました。

2022年はウクライナ問題を契機に、国連などの下での国際協調に基づく国際枠組の実効性に対する懸念の声が高まっていますが、感染症の脅威や自然災害に強靱で脱炭素型の社会・経済への移行が急務であることに変わりはなく、気候変動や生物多様性保全の取り組みに関し関係する条約締約国会議などの場で、国と自治体との連携の強化を含め、行動の一層の前進につながる合意が期待されます。イクレイ日本は国際的な自治体間の協力の絆を一層重視しながら会員自治体の取り組みの前進に貢献する所存です。



理事長 浜中 裕徳

2021年はリモートで行う会議が自治体でも定着し、国内外でその運用の幅が広がった年となりました。遠方とのやり取りが容易になった反面、対面で行う会議や意見交換の場で作られるコンセンサスの重要性にも気が付かされる年でもありました。こうした状況の中、イクレイ日本の事務所では非常勤スタッフや、派遣職員を新たに雇用するなど、活動の場を徐々に広げています。目まぐるしく変化する国際情勢を捉え引き続き会員自治体の活動をサポートできるよう取り組んでまいります。

事務局長 内田 東吾

体制

役員一覧

役 職	氏 名	現 職
理事長	浜中 裕徳	(公財) 地球環境戦略研究機関参与
理 事	ジノ・ヴァン・ベギン	イクレイ世界事務局長
理 事	小池 百合子	東京都知事
理 事	門川 大作	京都市長・イクレイ東アジア地域理事
理 事	北橋 健治	北九州市長
理 事	松井 一實	広島市長
理 事	松下 玲子	武蔵野市長
理 事	山中 竹春	横浜市長
監 事	河野 正男	横浜国立大学名誉教授
顧 問	フランク・カウニー	イクレイ会長 (デモイン市長)
顧 問	加藤 三郎	認定NPO法人環境文明21顧問
顧 問	大野 輝之	(公財) 自然エネルギー財団常務理事
顧 問	藤野 純一	(公財) 地球環境戦略研究機関都市タスクフォースプログラムディレクター 上席研究員
顧 問	大塚 隆志	(公財) 地球環境戦略研究機関戦略マネジメントオフィスコミュニケーション・共創担当ディレクター
顧 問	竹本 和彦	一般社団法人海外環境協力センター (OECC) 理事長、東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
運営委員	有田 雄一	北九州市環境局環境国際部環境国際戦略課 国際連携推進担当課長
運営委員	矢野 裕史	京都市環境政策局地球温暖化対策室「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進課長
運営委員	大久保 明子	東京都環境局総務部国際環境協力担当課長
運営委員	小川 勉	名古屋市環境局環境企画部環境企画課長
運営委員	木下 哲之	広島市環境局温暖化対策課長
運営委員	源田 綾子	武蔵野市環境部環境政策課長
運営委員	宮島 弘樹	横浜市温暖化対策統括本部調整課担当課長

2022年3月時点

イクレイ日本の会員自治体

正 会 員

愛知県、飯田市、板橋区、岡山市、川崎市、北九州市、京都市、京都府、
さいたま市、札幌市、下川町、墨田区、東京都、富山市、豊田市、長野県、
名古屋市、広島市、松山市、武蔵野市、横浜市 (五十音順)

特別会員

イクレイ会長：デモイン市長 フランク・カウニー

イクレイ世界事務局長：ジノ・ヴァン・ベギン

イクレイ日本理事長：浜中 裕徳

イクレイ日本顧問：フランク・カウニー（再掲）、加藤 三郎、大野 輝之、藤野 純一、大塚 隆志、竹本 和彦



愛知県
大村 秀章
知事



飯田市
佐藤 健
市長



板橋区
坂本 健
区長



岡山市
大森 雅夫
市長



川崎市
福田 紀彦
市長



北九州市
北橋 健治
市長



京都市
門川 大作
市長



京都府
西脇 隆俊
知事



さいたま市
清水 勇人
市長



札幌市
秋元 克広
市長



下川町
谷 一之
町長



墨田区
山本 亨
区長



東京都
小池 百合子
知事



富山市
藤井 裕久
市長



豊田市
太田 稔彦
市長



長野県
阿部 守一
知事



名古屋市
河村 たかし
市長



広島市
松井 一實
市長



松山市
野志 克仁
市長



武蔵野市
松下 玲子
市長



横浜市
山中 竹春
市長

(五十音順)
2022年3月時点

イクレイ日本2021年度ハイライト



国連気候変動枠組条約第26回締約国会議 | UNFCCC COP26

イクレイは、気候変動対策における地域の政策の重要性と、それを実施する自治体の主張を国際交渉に反映させるため、国際的な政策提言や自治体の取組を国際会議の場で広く伝える活動をしています。

2021年10月31日から11月13日にかけて英国・グラスゴーで開催されたUNFCCC COP26では、約200か国が参加し、1.5℃目標が国際的な照準となった「グラスゴー気候合意」をはじめ、メタン、森林伐採、化石燃料の段階的廃止、Race to ZeroやRace to Resilienceを含むマラケシュパートナーシップのレベルアップ等の成果がありました。「グラスゴー気候合意」では、経済・社会の変革が必要であるとの認識から、イクレイが事務局を務めるLGMAをはじめとしたオブザーバー組織（Constituencies）との連携が重要であると明記され、削減目標を高め、実行におけるあらゆる主体の協力的行動と自治体の役割を明確に呼びかけています。

LGMAとして、#TIME4MULTILEVELACTION ROADMAPをテーマにオンラインでも参加できるパビリオンを設置し、60以上のセッションを開催しました。

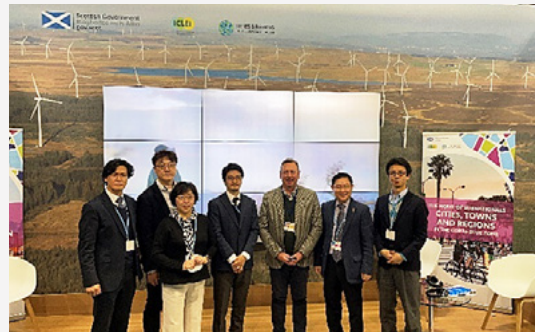
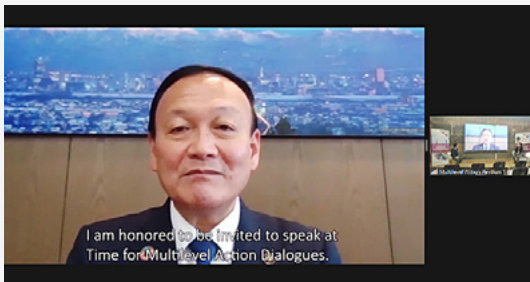
環境省がプレスカンファレンスやハイレベルセッションを通して国と地方が協働した脱炭素ドミノの創出について発信したほか、日本、英国、欧州パビリオンにて開催されたセッションに北九州市、京都市、富山市、豊田市、長野県、横浜市が登壇しました。

また、COP26以降も「パリ協定の次の段階としてすべての主体の連携行動をニューノーマルにすること」、「都市や地域の持続可能な開発を加速化するため、国内外や個人資金の地域への波及促進」、「様々な課題を統合しすべての人が恩恵を受ける気候行動の実施」、「UNFCCCの交渉プロセスにおける自治体の関与の向上」の4つの目標を重点分野に掲げ、LGMAとして支援していくことを発表しました。





11月2日 | ジャパンパビリオン |
環境省、イクレイ、IGES、OECD共催
「脱炭素都市の実現に向けた先進的な取組」
登壇：北九州市、長野県、横浜市



11月3日 |
LGMAマルチレベルアクションパビリオン |
イクレイ日本・東アジア・韓国・オセアニア事務所共催
「Time4MultilevelAction Dialogues:
Local Governments Driving
Accelerated Actions in the Age of
Climate Emergency-East Asia and Oceania」
登壇：富山市、横浜市



11月9日 | 欧州パビリオン | GCoM主催
「Localizing the NDCs: how do we fund and
implement action at scale?」
登壇：豊田市



11月10日 | ジャパンパビリオン |
環境省、イクレイ、IGES、OECD共催
「地域の脱炭素化に向けたマルチステークホルダーの役割」
登壇：京都市
※日米気候パートナーシップに基づき、「日米グローバル地方
ゼロカーボン促進イニシアティブ」の立ち上げが表明されました。



11月11日 | 英国パビリオン | UK100主催
「Local leaders change the national Net Zero
conversation; how in-country local government
networks accelerate climate action」
登壇：京都市

ローカルアクションを結集する

国際的な取組への
参加支援

イクレイは、持続可能な社会の実現に向けた、気候変動対策や再生可能エネルギーなど、多様な分野において国際イニシアティブを展開しています。

イクレイ日本では、国内の自治体がこれらに参加するための支援を行いました。

CDP-ICLEI統一報告システム
CDP-ICLEI Unified Reporting System

「CDP-ICLEI統一報告システム」は、世界中の自治体とつながり、自らの取組を国内外の自治体・企業・投資家に対して発信するためのツールとして活用されています。2021年は、初めて1,000を超える自治体と同システムを通じて環境情報を開示しており、イクレイ日本はCDPジャパンと連携し、189の自治体の報告を支援しました。そのうち、**京都市、東京都、横浜市**は環境対策が先進的な自治体として、最高評価であるAリストに選定されました。また、同システムを通して報告を行ったGCoM加盟自治体（**北九州市、富山市、新潟市**）について、GCoMコンプライアンス結果に対する修正支援を行いました。



Race To Zero Campaign



Race to Zero (RtZ) は、国連気候変動枠組み条約 (UNFCCC) が2020年の環境の日 (6月5日) に合わせて、COP26の延期をふまえたClimate Ambition Allianceの新たなフェーズとして開始したキャンペーンです。各カテゴリー（自治体、民間企業、大学等）別に、連携団体が運営するイニシアティブを通じて参加し、自治体は、ICLEI、C40、UCLG、WWF、CDPなどが取りまとめている「Cities Race to Zero」を通して参加することが可能です。（現在、Climate Ambition Allianceに参加した91の自治体が自動的にRtZに参加していることになっています。）毎年6月に参加要件（最低基準）が更新されるなか、Cities RtZは2021年6月に公表された最低基準2.0よりも厳しい条件を課しており、引き続き環境省と連携し、今後の動向をふまつつ日本のゼロカーボンシティが参加できるよう対応してまいります。

シティズ・ウィズ・ネイチャー
CitiesWithNature

都市と自然を結ぶ知識共有型プラットフォームを提供するユニークなイニシアティブ。

参加自治体は世界の生物多様性保全に向けた取組を検索できるほか、本プラットフォーム上でのトレーニングキットや生物多様性保全に係る評価などに関する情報へアクセスできます。

> 加盟自治体：愛知県、札幌市

リージョンズ・ウィズ・ネイチャー
RegionsWithNature

2021年10月に開催されたDaring Citiesで立ち上がった新たなイニシアティブ。

CBD公認のウェブ上のプラットフォームで、参加自治体の生物多様性に関する情報を掲載し、これを軸に世界で議論されているツールや研究、調査が展開できるようになります。> 加盟自治体：愛知県

ICLEI Climate Neutrality Framework

世界的な気候危機を受けて、GreenClimateCities (GCC) Programと統合して立ち上がったイニシアティブ。イクレイ会員の脱炭素化に向けた分析、行動、加速の3つの段階を支援しており、Race to Zeroの公式パートナー（イニシアティブ）として認定されています。

■ その他イクレイが推進する国際イニシアティブ

イクレイが他の自治体連合組織や国際機関などと連携して推進する国際的な取組へ、会員自治体の参加を呼びかけました。



100%再生可能エネルギーを目指す
都市・地域ネットワーク



CITYFOOD ネットワーク
＞東京都



変革のための行動プログラム
Transformative Actions Program: TAP
＞京都市、東京都、横浜市



エコ・モビリティ・
アライアンス



持続可能な公共調達を
実施する世界先進都市
ネットワーク



東アジア・クリーン・エア・
シティズ・ネットワーク (EACACN)
＞北九州市、東京都



グリーン循環都市連合
(GCCC)
＞長野県、横浜市



Cities Race to Zero



Race to Resilience

ローカルアクションを後押しする

国際会議等における
発表機会の創出・支援

イクレイや国際機関等が実施するオンライン国際会議等の機会を積極的に捉え、
会員自治体の発表機会の創出に努めました。

■ 自治体との協働事業

イクレイ世界大会（第一部）の開催

2021年4月12日から15日に、世界中から持続可能な都市開発を進める自治体関係者が集まり、3年に一度開催される世界大会（第一部）がオンラインで開催され、115か国以上から1500人以上が参加しました。米国デモイン市長のフランク・カウニーが2021-2024年の任期でイクレイ会長に就任し、東アジア地域理事会議長である京都市の門川市長もビデオメッセージを发出了しました。5つの発展的の道筋等に焦点をあてたVirtual Launch（ハイレベルセッション）では、小泉環境大臣がビデオ登壇し、日本が推進する「リデザイン」「ゼロカーボンシティ」「脱炭素ドミノ」について紹介しました。

CBD COP15（第一部）に関する取組み

生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）の第一部が、2021年10月11日から15日にオンラインと対面方式の併用で中国・昆明において開催され、COP15第二部における「ポスト2020生物多様性枠組」の採択に向けた決意を示す「昆明宣言」が採択されました。イクレイ東アジア事務局長がイクレイ及び自治体と生物多様性に関する諮問委員会を代表して、生物多様性の保全・回復・主流化のための具体的な施策を行っている自治体の役割と貢献の重要性に関する声明を発表したほか、世界事務局長も共同声明のなかで、「エジンバラ宣言」※を通して次期枠組みにおける自治体の役割の重要性を認識するよう締約国に呼びかけました。愛知県の太田知事はビデオメッセージを發出しており、「更新版 自治体のための生物多様性に関する行動計画」の採択に向けて、引き続き「エジンバラ宣言」の賛同を募る等、連携して取り組んでまいります。

※ポスト2020生物多様性枠組への決意を示すもので、国別の署名自治体数は日本が世界で最多（54件）



会員自治体による国際会議等への参加実績、発表機会の創出・支援

2021.4
APR

**4.12 イクレイ世界大会2021
-15 (第一部)**
主催 イクレイ、マルメ市
参加自治体 京都市
イクレイ日本の活動内容 支援

**4.12 「1.5℃ライフ
共同キャンペーン」
動画コンペティション
表彰式**
主催 イクレイ日本
参加自治体 横浜市

**4.21 All In For Climate:
How a Whole-of-Society
Approach Can
Accelerate the
Race to Zero**
主催 Alliances for
Climate Action
参加自治体 京都市

6
JUN

**6.4 第1回 CBD自治体と
生物多様性に関する
諮問委員会**
主催 イクレイアフリカ
参加自治体 名古屋市

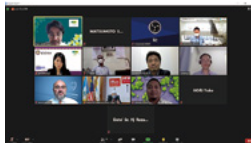
**6.9 第1回
G7-U7都市サミット**
主催
コア・シティーズUK
参加自治体 横浜市

**6.25 令和3年度
第1回
まつまSDGsカフェ**
主催
松山市SDGs推進協議会
参加自治体 松山市
イクレイ日本の活動内容 講演

7
JUL

**7.6 アジア太平洋気候ウィーク2021 (APCW2021)
Promoting Zero Carbon City through
making “Decarbonization Domino Effect”**

主催 環境省、UNFCCC、
世界銀行、UNDP、UNEP
参加自治体 川崎市、京都市
イクレイ日本の活動内容 サイドイベント共催



**アジア太平洋気候ウィーク2021 (APCW2021)
Imagining 2050: Building low carbon,
resource efficient, nature positive and
socially just cities**

主催 UNEP 参加自治体 横浜市
イクレイ日本の活動内容 支援

**7.7 第10回 中部環境先進5市
(TASKI)サミットin飯田**
主催 飯田市 参加自治体 飯田市
イクレイ日本の活動内容 モデレータ

**7.8 アジア太平洋気候ウィーク2021
(APCW2021)
A Whole-of-Society Approach to
the Race to Zero**

主催 Alliances for Climate Action
参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 共催 (JCI)

**7.9 Reinforce Local and Subnational
Governments' Actions and
Contribution: Edinburgh Process
for Post-2020 Global Biodiversity
Framework**

主催 イクレイ東アジア、スコットランド政府
参加自治体 愛知県
イクレイ日本の活動内容 支援

8
AUG

**8.31 JCIウェビナー
「最新のIPCC報告書の内容から
脱炭素化への道に関する疑問まで
～専門家と実践中のJCIメンバーが
お答えします～」**

主催 JCI 参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 協力 (JCI)

9
SEP

**9.7 2021 Beijing International
Forum on Metropolitan Clean Air
and Climate Actions**

主催 Beijing Municipal Ecology and
Environment Bureau (BEE)
参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 支援

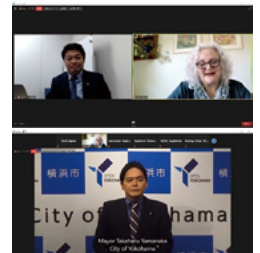
**9.16 IURCアジア・オーストラレーシア
(豪・NZ) / 日本の地域会合
EU・日本キックオフ会合**

主催 国際都市地域間協力 (IURC)
AA 日本事務局
参加自治体 川崎市、京都市、富山市、
豊田市、名古屋市
イクレイ日本の活動内容 協力

10
OCT

**10.4-8
Daring Cities
2021**

主催
イクレイ、ボン市
参加自治体 横浜市
イクレイ日本の活動内容 支援



**10.11- 生物多様性条約第15回締約国
15 会議 (CBD-COP15) 第一部**

主催
CBD、中国
参加自治体 愛知県
イクレイ日本の活動内容 協力



**10.13 気候変動アクション日本サミット
2021**

主催 JCI 参加自治体 京都市、東京都
イクレイ日本の活動内容 支援

**10.14 TIME TO ACT:
Climate Action Forum**

主催 東京都 (イクレイ後援)
参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 モデレータ



10.21 2021 Asia-Pacific Forum on Green Low-Carbon Development

主催 アジア開発銀行 (ADB)、湖南省
参加自治体 北九州市 イクレイ日本の活動内容 支援

10.26-28 第10回 アジア・スマートシティ会議

主催 横浜市 参加自治体 横浜市

10.26-27 日欧オンライン会議 | 都市、地域、クラスター：ゼロカーボンへの道

主催 日欧産業協力センター
参加自治体 京都市、東京都、富山市、豊田市、長野県

イクレイ日本の活動内容 協力

10.28-29 大気質改善に関するソウル国際フォーラム/第1回 東アジア・クリーン・エア・シティズ・ネットワーク (EACACN) 定例会

主催 ソウル市、イクレイ東アジア
参加自治体 北九州市

イクレイ日本の活動内容 支援

10.28 インターナショナル・ウェビナー「循環型経済政策と気候戦略」

主催 東京都 参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 支援

10.31-11.13 気候変動枠組条約第26回締約国会議 (UNFCCC-COP26)

主催 UNFCCC、英国
参加自治体 北九州市、京都市、富山市、豊田市、長野県、横浜市



11 NOV

11.15 第12回「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式及び「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム

主催 「KYOTO地球環境の殿堂」運営協議会、京都環境文化学術フォーラム (イクレイ日本後援)

参加自治体 京都市、京都府
イクレイ日本の活動内容 講演

11.16 第18回川崎国際エコビジネスフォーラム

主催 川崎市、UNEP (イクレイ日本後援)
参加自治体 川崎市

11.20 「おかやまESDフォーラム2021」第1部

主催 岡山市
参加自治体 岡山市
イクレイ日本の活動内容 支援

11.23-24 International Forum on Low Carbon Cities

主催 UNESCAP East, North-East Asia Office (NEASPEC secretariat)、仁川市
参加自治体 北九州市、富山市
イクレイ日本の活動内容 講演

11.26 サーキュラー・イノベーション・フォーラム2021

主催 東京都 参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 支援

12 DEC

12.3 CDPシンポジウム「自治体の環境情報開示とサステナブル金融」

主催 CDP
参加自治体 北九州市、京都市、東京都、横浜市
イクレイ日本の活動内容 講演

12.23 東アジア地域理事会

主催 イクレイ東アジア
参加自治体 京都市

2022.1 JAN

1.20 第67回GBJセミナー～自治体のサステナビリティ最新動向～札幌市におけるゼロカーボンの取組および今後のまちづくりについて

主催 グリーンビルディングジャパン
参加自治体 札幌市
イクレイ日本の活動内容 講演

1.21 「脱・温暖化!ひろしま2022」

主催 ひろしま脱炭素まちづくり市民会議、広島市
参加自治体 広島市
イクレイ日本の活動内容 講演

2 FEB

2.8 第11回 生物多様性自治体ネットワーク定期総会

主催 生物多様性自治体ネットワーク
参加自治体 名古屋市、他9自治体
イクレイ日本の活動内容 講演

2.14 東京都インターナショナル・ウェビナー「循環型経済政策と食品廃棄物」

主催 東京都 参加自治体 東京都
イクレイ日本の活動内容 支援

2.22-25 国際学生ゼロカーボン会議

主催 長野県 参加自治体 長野県
イクレイ日本の活動内容 支援

2.24 令和3年度カーボンニュートラルに向けた都市地域炭素マッピング等イノベーション手法研究会 (第一回)

主催 環境省
参加自治体 北九州市、京都市
イクレイ日本の活動内容 講演

3 MAR

3.9-10 脱炭素都市国際フォーラム

主催 環境省、米国気候変動問題担当大統領特使室 (SPEC) (UNFCCC、イクレイ、IGES共催)
参加自治体 川崎市、札幌市、富山市、横浜市
イクレイ日本の活動内容 企画運営、モデレータ



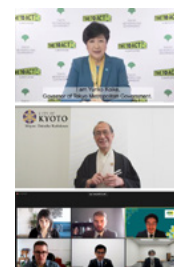
3.22 【The Road to Malmöウェビナー】Green resilience: 環境にやさしいレジリエントな都市づくり

主催 イクレイ世界事務局、イクレイ日本
参加自治体 さいたま市
イクレイ日本の活動内容 共催



3.23 ウェビナー「日本のエネルギーにおいて今後の課題：自治体として向かうべき方向について～C40や日英の都市の経験を踏まえて～」

主催 英国大使館
参加自治体 京都市、東京都
イクレイ日本の活動内容 モデレータ



その他イクレイ日本関わった会議等

開催日	会議名等	主催・共催	活動内容
4月22日	「チームZERO YOUTH 横浜」公開トーク ～アースデイに「地球」の未来と「地域」について考えよう～	チームZERO YOUTH 横浜 (イクレイ日本協力)	講演
5月29日	国際シンポジウム「2021 Sakura-Bio Meeting」	日本生物工学会中部支部	講演
6月-8月	ワンプラネット・シティチャレンジ (OPCC) ～地球1個分で暮らせる都市づくり～	WWF	協力
7月9日	2021年度SPEED研究会夏季セミナー	エコイノベーションと エコビジネスに関する研究会	講演
7月22日	【The Road to Malmöウェビナー】 Fostering 1.5 degrees lifestyles with urban partnerships	IGES、イクレイ、 Hot or Cool Institute	協力
9月15日	令和3年度 第2回ゼロカーボンシティ意見交換会	環境省	講演
9月30日	第1回 地域循環共生圏の創造に向けた パートナーシップのあり方検討会	環境省	委員
10月19日	IURC第2回テーマ別ウェビナー 「都市におけるカーボンニュートラルの実現に向けて」	国際都市地域間協力 (IURC) AA 日本事務局	講演
10月31日	LGMA Press Conference: World Cities Day	LGMA	支援
11月2日	COP26ジャパンパビリオン 脱炭素都市の実現に向けた先進的な取組	環境省 イクレイ日本、IGES、OECD	サイドイベント 共催
11月2日	COP26中国企業パビリオン 都市とコミュニティのカーボンニュートラル	C Team、Vanke Foundation	講演
11月3日	LGMAパビリオン Time4MultilevelAction Dialogues: Local Governments Driving Accelerated Actions in the Age of Climate Emergency - East Asia and Oceania	イクレイ東アジア、日本、 韓国、オセアニア	サイドイベント 共催、 モデレータ
11月10日	COP26ジャパンパビリオン 地域の脱炭素化に向けたマルチステークホルダーの役割	環境省 イクレイ日本、IGES、OECD	サイドイベント 共催
11月11日	UKパビリオン Local Leaders Change the National Net Zero Conversation; How In-Country Local Government Networks Accelerate Climate Action	UK100	協力
11月24日- 12月3日	第13回持続可能なアジア太平洋に関する 国際フォーラム (ISAP2021)	IGES (イクレイ日本後援)	講演
12月2日	第2回 地域循環共生圏の創造に向けた パートナーシップのあり方検討会	環境省	委員
1月17日	「世界首長誓約/日本」セミナー 「2050年実質ゼロカーボンの道筋」	「世界首長誓約/日本」事務局	講演
3月10日	第3回 地域循環共生圏の創造に向けた パートナーシップのあり方検討会	環境省	委員
3月11日	1st Technical Meeting of 2022 G7 Urban7 Group	G7 Urban7 Group Alliance	支援
3月18日	第2回Future Earth日本サミット2022	Future Earth 日本委員会	講演
3月21日	2nd Technical Meeting of 2022 G7 Urban7 Group	G7 Urban7 Group Alliance	支援

会員自治体のための 情報交換機会の創出

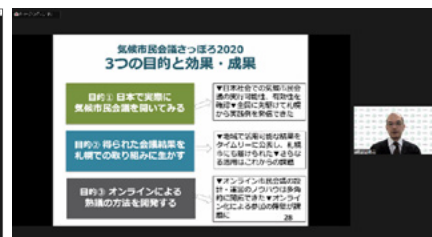
会員自治体と関係者による定期的な情報交換・情報発信の場として、イクレイカフェや、セミナー等を開催しました。

■ イクレイ持続可能な都市研究会（イクレイ・カフェ）の開催

- ・ 会員自治体と関係者による情報交換・情報発信の場として2015年に始めたイクレイカフェですが、今年度も特別イクレイカフェとしてオンラインで実施しました。



イクレイカフェの様子



各回におけるテーマ

6月30日	（特別イクレイカフェ）イクレイの成り立ちや会員ベネフィットについて	
10月28日	（特別イクレイカフェ）CBD-COP15に向けた主な活動 ・ 生物多様性COP15第1部報告とエジンバラ・プロセスの進捗 ・ 名古屋市の生物多様性の取り組み～COP10から10年間の成果～	【発表】愛知県 【発表】名古屋市
11月26日	（特別イクレイカフェ）気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26） ・ COP26での活動報告	【発表】横浜市
12月24日	（特別イクレイカフェ） ・ 気候市民会議さっぽろ2020 日本で初めての気候市民会議の試行 ・ 「札幌市気候変動対策行動計画」の検討における市民参加について	【発表】北海道大学 【発表】札幌市
2月28日	（特別イクレイカフェ）ライフスタイルから見る GHG排出量を見える化する意味 ・ 脱炭素型ライフスタイルの選択肢 ・ 1.5℃ライフスタイルプロジェクト 京都市・横浜市での事例紹介 ・ ZEB、ZEHなど住宅や建築物に関する取組について	【発表】国立環境研究所 【発表】地球環境戦略研究機関 【発表】札幌市

■ イクレイ会員自治体間（国内）の連携

イクレイを後見人として、さいたま市と松山市で締結している脱炭素社会の実現とSDGsの達成に向けた連携協定のもと、今年度は各市の子どもたちがSDGsの目標「12. つくる責任、つかう責任」を共通テーマに体験学習を行い、オンラインで交流しました。また、松山市とエコフレンドシップ協定を結んでいるドイツ・フライブルク市の子どもたちに環境学習の成果を発表しました。



さいたま市からのコメント

企業の協力を得て行った体験学習では熱心に取り組む子どもたちの積極的な姿勢が見られました。松山市とのオンライン交流会では、互いの学習成果を教え合うことで、「SDGsにつながる取組は身近にたくさんある」ことを学ぶなど、子どもたちの意識啓発に繋がったと考えています。

2022年3月にはイクレイ世界大会に向けたウェビナーに清

水市長が参加し、イクレイ日本の支援のもと、マルメ等の都市と「環境に優しいレジリエントな都市づくり」をテーマにセッションを行いました。

本市は、11月にイクレイ日本と共催で国際会議「さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNA グローバルサミット～」の開催を予定しており、これまで培ってきた都市間ネットワークを発展・拡充させ、脱炭素社会の実現に寄与していきたいと考えています。

イクレイ会員自治体間（海外）との連携事業

- 気候変動対策における若者の役割が重要視されるなか、2020年度に実施したフィンランド・トゥルク市と横浜市（長野市、小布施町でも実施）の若者を対象とした共同事業（「1.5℃ライフスタイル」ビデオコンペティション）の優勝作品を、COP26でLGMAが設置したMultilevel Actionパビリオンで放映しました。また、COP26の会場からRCE横浜 若者連盟に向けてライブ配信を行いました。



イクレイ日本のネットワークを広げる活動

- 気候変動対策に積極的に取り組む国内マルチステークホルダーのネットワーク「気候変動イニシアティブ（JCI）」へ運営委員として参画し、日本における非国家アクターの動向をリアルタイムに把握し、会員自治体のために情報共有と活動機会を創出しました。

JCIへの参加自治体

川崎市、北九州市、京都市、京都府、札幌市、
下川町、東京都、長野県、松山市、横浜市



気候変動アクション日本サミット2021

- 自治体・教育機関・医療機関等及び、消費電力量10GWh未満の企業を対象として、使用電力の再エネ100%化宣言を表明し、共に行動を示していくイニシアティブである「再エネ100宣言 RE Action」の参加団体が、2021年11月に200を超えました。また、新たに一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（JNCCA）が協議会委員として参画し、参加団体の再エネ使用状況やアンケート回答の概要などを掲載した「年次報告書2021」を公表しました。

RE Actionへの参加自治体

岡山市、さいたま市

アンバサダー

岡山市、川崎市、京都市、さいたま市、横浜市



調査・情報整理

イクレイのネットワークを通じて、国内外の自治体を対象とした調査支援などの受託事業を実施しました。

令和3年度脱炭素社会形成行動の主流化推進事業委託業務に関する支援外注業務 (IGES委託事業)

イクレイの国際ネットワークの強みを活かし、国内外の企業、自治体の再生可能エネルギーや脱炭素経営に関する動向を調査し、その先導的な非政府主体の最新動向を国内において幅広く発信する業務を支援しました。

環境省令和3年度都市間連携の促進等を通じた都市の脱炭素化支援委託業務に関する調査・会議開催協力・支援業務 (IGES委託事業)

日米による脱炭素都市協力の活動推進に係る支援、脱炭素都市国際フォーラムに向けた関連会合への参加・準備支援、脱炭素都市に関する情報発信支援等を行いました。

ローカルアクションを主張する

国際交渉への働きかけ

イクレイは、「自治体と地方行政機関の発言枠 (Local Governments and Municipal Authorities (LGMA))」の事務局としての役割を担っています。気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC) などの各国政府による国際交渉の場へ自治体の生の声を届けるべく、自治体の参加を支援しています。また、気候変動、生物多様性保全、コロナウイルスなど人類共通の課題解決に向けて、G7参加国の自治体で構成されるUrban7に参加し宣言を取りまとめる等、G7のプロセスにおける自治体の関与を高めています。



地球環境戦略研究機関 (IGES) による都市関連政策研究への助言と貢献

IGESでは、持続可能な社会への移行のために都市・自治体が果たす役割と、地方および中央政府による政策、あるいは国際機関によるイニシアティブ等に関する研究プロジェクト (IGES City Task Force) を実施しています。イクレイ日本は、同プロジェクトの企画・運営について助言を行うとともに、国内外における会合の企画への参画と参加、関連調査の実施等の業務を行いました。

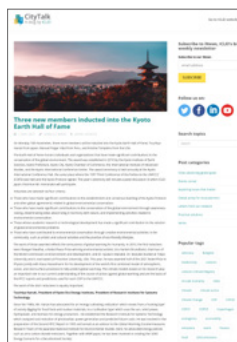
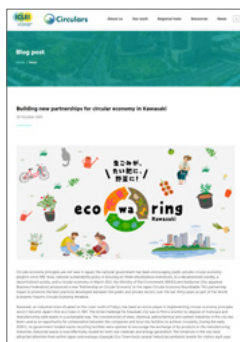
ローカルアクションを広める

日本の自治体による 先進的な取組のアピール

国内自治体による先進的な取組や持続可能な社会の実現に向けた動向などについて、一般の方々にも広く知っていただくために、ウェブサイト、メールニュース、ツイッターなどで情報を発信しています。

- 会員自治体の活動や成果についてアピールする広報ツールとしてご活用いただき、2021年度は会員自治体に関するニュースを181件掲載しました。

- 国内会員の活動や成果を海外に向けて積極的にアピールするために、イクレイ世界事務局が運営するウェブサイト、メールニュース (iNews)、ブログ (CityTalk) など、イクレイのネットワークを通じた世界的な情報発信力の強化に努めました。

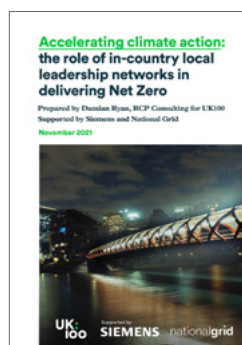


- ウェブサイトに掲載している会員紹介ページを英訳し、様々な場面で活用しました。



イクレイネットワークでの発信

- COP26でUK100が公表したレポート (Accelerating climate action: the role of in-country local leadership networks in delivering Net Zero) のなかでイクレイ日本の活動を紹介しました。
- 地球環境戦略研究機関 (IGES) が発行した京都市と横浜市における「1.5℃ライフスタイルのシナリオ」の策定に協力しました。



海外自治体による 先進的な取組の情報提供

イクレイの国際ネットワークを活かして、海外自治体の先進的な取組や国際的に展開されているイニシアティブなどについて情報収集と提供を行っています。海外ニュースや取組について更に身近に感じていただくために、日本語での発信の強化および迅速化に努めました。

■ イクレイ日本の広報ツール

> ウェブサイトのリニューアル

- 旧ウェブサイトからの移行を進め、2022年1月に完全リニューアルしました。
- イクレイ会員自治体の紹介や、イクレイが世界的に展開するイニシアティブや最新情報を日本のオーディエンスにも分かりやすく掲載しました。

> メールニュース「イクレイ日本e-News」

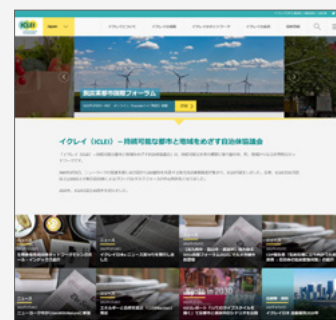
- 月1回ニュースレターを発行し、国内外の自治体による先進的取組や持続可能な社会の実現に向けた動向等を、国内自治体向けに分かりやすく紹介しました。
- 自治体、行政関係者、NPO、研究機関・大学等をはじめとする方々にご登録いただいています。

> ツイッター

- 国内会員自治体や海外自治体の環境関連の情報について、日本語および英語で発信しました。

> 先進的な海外事例集の発行

- マルメとフライブルクに焦点をあて、両市のカーボンニュートラルに向けた取組を紹介しました。
- 世界の最新動向を知っていただく手段の一つとして、新たにイクレイ海外事務所（主に東アジア、ヨーロッパ、アメリカ）が発信する事例を翻訳し定期的に配信しました。



講演

会員自治体からの依頼を受けて、部会や職員研修、都市間研修において講演を行いました。また、雑誌・メディア掲載の機会を積極的に捉え、イクレイネットワークおよび会員自治体による活動の周知に努めました。

■ 講演・発表

2月 板橋区環境マネジメントシステム管理職研修 【主催】板橋区

■ 制作協力

- 雑誌への寄稿依頼を受けた際に、テーマに応じて、会員自治体の取組を紹介しました。



隔月刊「地球温暖化」における イクレイ通信の連載

日報ビジネス株式会社と連携し、隔月刊「地球温暖化」に、持続可能な社会の実現の主役である自治体に焦点を当てた「イクレイ通信」のコーナーを設け、2017年3月から連載を開始しました。気候変動対策に先進的に取り組む自治体の動向を紹介しています。



その他

■ イクレイ日本運営関連

イクレイ日本社員総会	2021年5月
イクレイ日本臨時社員総会	2021年9月
イクレイ日本運営委員会	2022年3月

■ イクレイ運営関連

イクレイ東アジア地域理事会 2021年12月



イクレイ東アジア地域理事会の様子

■ その他、委員就任等

- 日本気候変動イニシアティブ運営委員 (JCI)
- 日本気候リーダーズ・パートナーシップパブリックパートナー (JCLP)
- 地域循環共生圏の創造に向けたパートナーシップのあり方検討会委員
- 再エネ100宣言 RE Action協議会委員
- スマートシティ・インスティテュート賛助会員 (SCI-Japan)
- 世界首長誓約戦略諮問委員 (GCoM)
- 松山市SDGs推進協議会オブザーバー
- 令和3年度カーボンニュートラルに向けた都市地域炭素マッピング等イノベーション手法研究会

5

グローバルガバナンス

イクレイ議会

地域理事会のメンバーで構成されるイクレイ議会は、イクレイの最高意思決定機関であり、会員を代表してイクレイの運営を監督する役割を担っています。3年毎に開催され、「イクレイ憲章」の改正、イクレイ世界理事の選出、「イクレイ戦略計画」の承認等の権限を有しています。

地域理事会

各地域の会員の代表機関であり、地域毎に3～5人の会員代表で構成されます。京都市の門川大作市長が東アジア地域理事を務めています。

世界理事会

イクレイの全会員を代表する世界理事会は、各地域理事会で選出された地域理事と指名会員で構成されます。イクレイ全体の方針を決定する機関であり、イクレイ細則の採択と改正、イクレイ議会の招集、各地域や国の事務所の設立承認等を行います。

2021–2024 East Asia RexCom (東アジア地域理事会) 2022年3月時点



議長
Daisaku Kadokawa
Mayor | Kyoto, Japan
Low Carbon Development
and Climate Mitigation



副議長
In-Dong Cho
Vice Mayor | Seoul, South Korea
Air Quality & Regional Cooperation



世界理事会地域代表
Tae-Young Yeom
Mayor | Suwon, South Korea
Sustainable Urban Mobility



Xian Zhao
Vice Mayor | Changchun, China
Green Circular and Resource
Efficient Economy



Cheng-Ta Hsieh
Deputy Mayor |
New Taipei
Resilience and
Climate Change
Adaptation



アドバイザー
Alex Zhang
Director |
Eco-Forum
Global GexCom
Member



アドバイザー
Prof. Hironori Hamanaka
Chair |
ICLEI Japan

2021–2024 GexCom Leadership

2021年4月に就任した新たなリーダーたち



会長
Frank Cownie
Mayor |
Des Moines, USA



第一副会長
Katrin Stjernfeldt Jammeh
Mayor | Malmö, Sweden

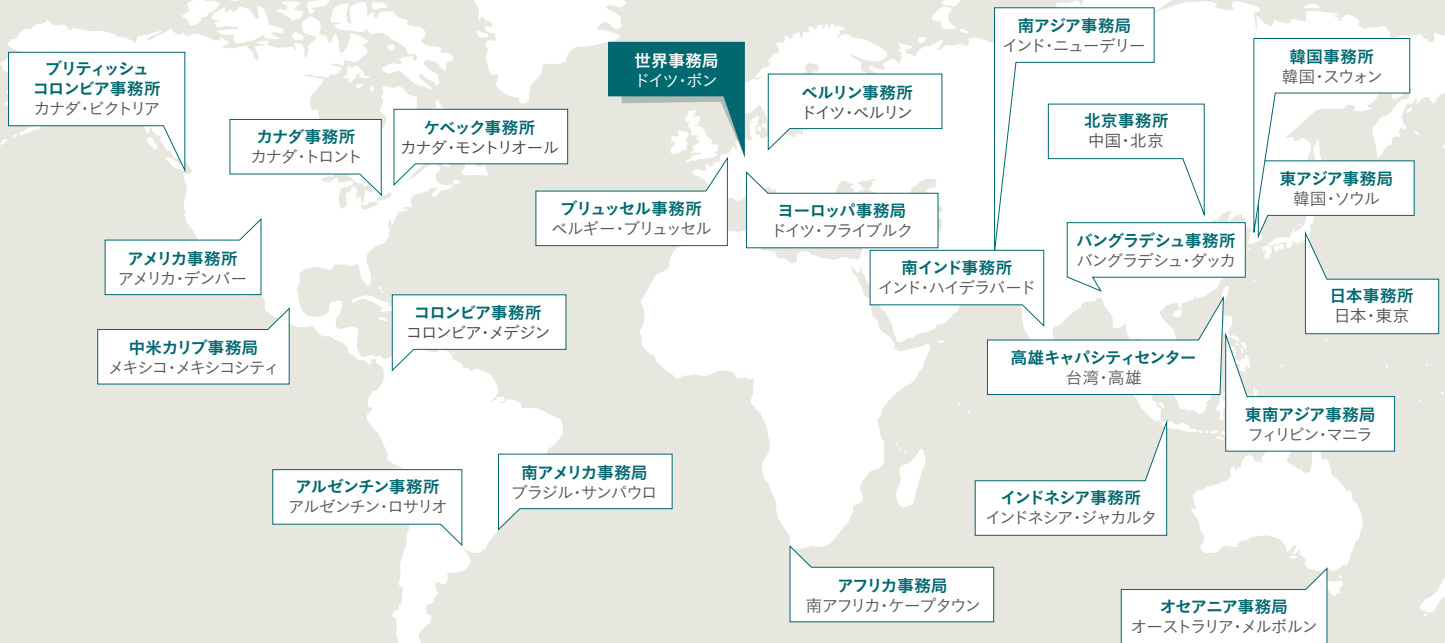


副会長
Minna Arve
Mayor |
Turku, Finland



副会長
Atishi Marlena
Member of Legislative Assembly |
National Capital Territory of Delhi,
India

> イクレイ事務局・事務所



Contact

一般社団法人イクレイ日本

〒105-0003

東京都港区西新橋1-14-2

新橋SYビル4F

TEL: 03-6205-8415

FAX: 03-6205-8416

E-mail: iclei-japan@iclei.org

イクレイ日本 >japan.iclei.org/ja/

イクレイ世界事務局 >www.iclei.org

